

帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

畜産学部共同獣医学課程

School of Cooperative Veterinary Medicine



EAEVE

欧州獣医学教育認証を取得



EAEVE…

EU域内の獣医学教育機関の教育の質を評価し、卒業生の獣医師としての技能を保証し、その機関の教育改善を促進させるための組織。その教育評価は、カリキュラムをはじめ、財政状況、施設・設備、教育資源、教育環境、教職員、教育の質保証システムなど多様な項目に渡り、特に実習や現場での教育が重要視されている。

欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）認証の取得

帯広畜産大学・北海道大学の「共同獣医学課程」と山口大学・鹿児島大学の「共同獣医学部」が、2019年12月11日、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE：European Association of Establishments for Veterinary Education）による認証を取得しました。

EAEVE認証の取得によって、本学で実施する獣医学教育が欧州水準を満たしており、国際通用性を有していることが認められました。

なお、今回の認証取得は、本学、北海道大学、山口大学、鹿児島大学の国立大学4校の連携事業「国立獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築」（文部科学省国立大学改革強化推進補助金）の成果の一つです



2019年12月13日EAEVE認証取得記者会見（於 文部科学省）
左から笠原北海道大学総長職務代理、奥田帯広畜産大学長、岡山口大学長、佐野鹿児島大学長

EAEVE認証取得の背景

グローバル化の進展によってヒトやモノの国境を越えた移動が盛んになり、感染症対策、食の安定供給・安全確保など獣医師に対する社会の要求は高まっています。

こうした背景から、獣医学教育の国際水準化の必要性が高まっていますが、EAEVEや米国獣医師会（AVMA）といった第三者機関による評価が一般化されている欧米に対し、日本及びアジア圏では国際基準による評価制度が確立しておらず、世界の動向から取り残されている状況でした。

国際水準の獣医学教育の構築

こうした状況を改善するため、帯広畜産大学と北海道大学は、互いの強みを生かす共同獣医学課程を2012年に設立し、産業動物臨床棟などの施設・設備の整備や実習教育の充実といったハード・ソフトの両面から獣医学教育水準の獣医学教育の改善を強力に推進しました。その獣医学教育の改善を示す指標の一つとして、欧米の獣医学教育認証の取得を目指しました。

国際認証取得を取得するために、本学では、人員の強化と合理化、施設・設備の新設や改修、カリキュラム改訂、外部組織との連携による実習の充実、学生や外部ステークホルダーの組織運営への参画、Hands-on実習の強化、馬の24時間診療体制の構築など様々な改革を実施しました。



国際水準の獣医学教育の実践

本学では、産業動物臨床施設、食肉衛生検査施設などの最先端施設・設備を利用し、産業動物や衛生学分野に関して特色ある教育を行っています。また、臨床実習時間の増加や外部機関との連携による養豚・養鶏場での実習の導入などにより、従来の日本の獣医学教育では不十分とされてきた臨床実習教育や公衆衛生教育を強化し、欧州と同等の教育を実施しています。

また、動物福祉への配慮を国際水準に引き上げるため、生体を使った動物実験を減らす一方でスキルスラボを充実させています。スキルスラボとは、獣医療に必要な技術（スキル）を、模型やシミュレーターを用いて学習する施設です。本学は、牛と馬の分娩シミュレーターを開発するとともに、各種シミュレーターを導入しており、分娩介助や心肺蘇生、縫合などを繰り返し練習して効率的に技術を向上させることが可能です。



EAEVEの認証評価においても、これらの優れた施設・設備、カリキュラムの継続的な改善、効果的な教育な質保証システム、学生や外部ステークホルダーの要望を教育・運営に取り入れるシステムなどは特に優れていると評価され、施設・設備の優れた環境下での教育はもちろんのこと、日々変化する学生や社会の要望に適切に対応している教育機関であることが国際的に認められました。

EAEVE認証取得に伴う今後の展開

今後は、認証取得の過程で得た経験と知識を他大学に還元し、我が国の獣医学教育の継続的な教育改革に貢献するとともに、本学としても更に国際通用性の高い獣医学教育の実現に向けて努力を続けるとともに、グローバルに活躍できる獣医師を養成していきます。

また、国内のみならず、アジアの獣医学教育機関にも、EAEVE認証取得で培った知見や手法を波及させることで、アジアの獣医学教育の発展にも貢献していきます。

また、EAEVE認証を取得した本学の卒業生においては、以下の点で世界での活躍が容易になります。

- EU諸国における獣医師免許取得の際の一部試験・研修の免除
- 国際的な専門医資格取得の前提条件を満たす



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine



このシンボルマークは、「かしわ」の葉をモチーフにしており、キーカラーは生命力や創造力を象徴するグリーン、アクセント的に配したダークグリーンは、本学がめざす知の成熟と実学の深化を表現しています。

帯広畜産大学獣医学教育国際認証推進室
〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地